

主な改修及び整備箇所について

【表示・点字サイン】

視覚障害者が施設内の情報を得るための重要な誘導設備。居室やトイレ等各所に設置。



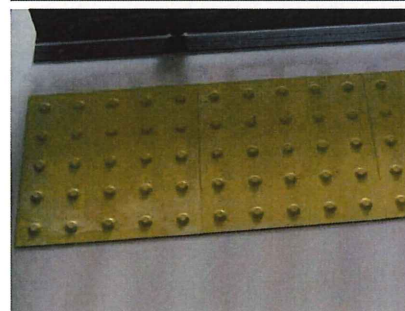
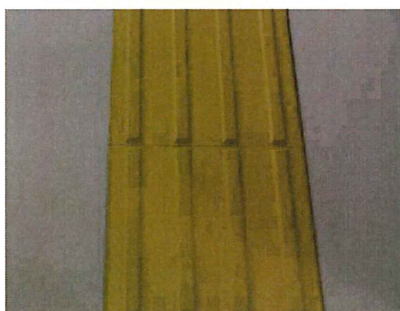
【音声案内装置】

センサーにより付近にいる利用者を感じ、音声により、場所や設備について案内します。エレベーターやトイレ、食堂付近に設置。

【視覚障害者誘導用ブロック】

視覚障害者が足裏の感触で認識できるように、突起を表面に付けたもので、視覚障害者を安全に誘導するために床面に2種類のブロックを敷設しました。

進行方向を示す誘導ブロックと、危険箇所や対象施設や分岐場所を示す警告ブロックを敷設することで、視覚障害者の歩行の補助的役割を果たします。



誘導ブロック

警告ブロック

【手すり】

手すりには、移動する際の歩行や動作の補助的な役割があり、居室からお風呂場、食堂など最低限必要と思われる動線部分へ手すりを設置。



設置前



設置後

【居室の改修】

出入り口付近に段差のあった和室を、段差をフラットにした洋室へ改修することで、視覚障害者が安心して生活できる居室に変更しました。

障子を防火性の優れたカーテンへ変更し、防災面においても和室の際に比べ安心できる空間となっています。



和室玄関 段差あり



改修後 段差の無い玄関



改修前 和室室内



改修後 洋室室内

【転落防止柵設置】

非常階段付近にはU字型の転落防止柵が設置されていますが、視覚に障害がある場合、柵の横から転落する恐れがあるため、階段のある3カ所にレール式の柵を設置し、手前には警告用点字ブロックも敷設。



設置前



設置後